

投稿をお待ちしています。この「市民談話室」は、市民の皆さんの意見交換の場です。テーマは自由です。あなたがふだん思っていること、お書きになって気軽に寄せください。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、〒950-112 白根市大字白根二二三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。



市民文芸

俳句

孫に手を引かれて老母初詣り
玉木 長吉
初春や花は優しき雪の花
波辺 勲

川柳

車座になると気品を捨てる菊
西条 ムラ
おみくじに縁談まだかど聞いて見る
野内熊太郎
大吉が買う気にさせた宝くじ
早川 英男
入れた手が抜けない欲の掴み取り
山岡 フミ
荷を背負い純行でよし夫婦旅
吉川 彰
祝い酒効いたウサギの目が赤い
吉川 末吉
明日からダンスに冬眠する金貨
米野 光雄
愚かさを隠す特技が一つある
波辺 ミヨ
印刷で無沙汰を詫びる年賀状
今井 七郎
手の内が読めてる二枚舌を抜く
今井 タエ
人生の峠へはばる五十路坂
岡村 清
廊下拭く愛嬌ふりまく嫁の尻
織田 セツ

きゆうりの顔の

わかる〇〇に

大野淳夫さん(七軒町七、公務員・53歳)



ざつと十年ほど前、鷺巻小学校にお世話になっていたころのことです。当地は、教育はもちろんPTA活動の盛んな地域で、ハウス栽培による屈指の野菜早出し地域でもあります。



石田 和さん(上塩俣、農業・48歳)

農道で自転車がパンク。安全できれいにしたいもの

七月のある朝のこと。畑に行く途中の農道で、自転車を引いてくる近所の人に出会いました。「どうして引いているのか」と尋ねると、「自転車で乗っていたらパンクしてね。降りて見てみると古い自転車のチェーンが巻きついていたので、やっ取り除いた」とのこと。「なぜこんな古い鉄くずや空き缶などを捨てるのだろうか。古いナイロンの切れ端なども、各自が始末すればよいのだが……」など

好ましい人間関係は

礼儀から生まれる

仲野アキさん(新村・農業・46歳)



「親しい仲にも礼儀あり」といわれるように、礼儀は人間関係でもっとも大事なものの一つであると思います。礼儀を知らない人は、往々にしていいかげ

初恋の人と五十年ぶりに再会。

昨年特につれしかかったこと

城島元一さん(上野ノ木・66歳)



①昨年の五月に、初恋の人に五十年ぶりで会いました。その人は小学五年生ごろの転校生で、よく「とんぼつり」などいっしょでした。転居して大阪に行っただ由。

過去から未来へ……考えたい

子らのためのふるさとづくり

松井一雄さん(大通南一、会社役員59歳)



三十八年に及ぶ警察官生活から民間に入って八か月たちました。過去から脱皮し、白紙で好奇心を燃やして民間世界の吸収に臨む日々を送っています。新潟島から移って五か月。二・五

グループ紹介⑥

サークル「あじさい」(コーラス)



庄瀬の婦人学級に集まった人たちが、活動の中で行っていたコーラスが楽しくて、そのままこのサークルを6年前に結成しました。練習は毎月第1・3水曜日の午後7時30分から9時ころまで、庄瀬地域生活センターで行われています。歌っているとき以外は笑い声が絶えないにぎやかさです。講師は、昨年12月から新しく桑原純子さん(元東京混声合唱団所属・田上町)に依頼。「もともと上手な人たちですね。とにかくめっちゃ明るい奮闘気で、びっくりしました」と、会員に笑わされながら指導していた桑原さんは話してくれました。会員は17人で、今まで地区芸能祭や市民芸能祭に混声で出演。男性会員がいないため、青年団に応援を頼んでいたそうです。会長の宮下勝子さんは「みんなざっくばらんで気軽につきあえる人たちばかりです。一人でも多くの人に入ってほしい、規模をもっともっと大きくしたい」と話しています。特に男性は大歓迎とのこと。地区にもこだわりません。入会したい人は布川千穂さん(☎372-2965)へ連絡してください。

会員の声

布川千穂さん(庄瀬上町・薬剤師)



コーラスは中学、高校、大学と続けていました。声を出すことで日ごろたまっているストレスが解消されるし、気分的にも若返ります。友達づくりにもいいですね。ここで歌って帰ると家の中が明るくなる感じで、そのせいか、家族は「行ってらっしゃい」と喜んで送り出してくれます。

短歌

火の島は噴き噴き暴れ住民の
人家に迫る塔岩の舌
中村 京

肩の荷に己の齢を知らされる
後藤マサノ

信仰の道を手術後に歩く
佐藤トミノ

御馳走を前に祝辞が長過ぎる
佐藤ヨキ

大火傷する火を歳暮に鬼が呉れ
高橋祐四郎

メス振るう医師に命を預けける
竹石 甚五

嘘とジョークの区別が出来ぬ発見機
田中 成子

古希過ぎて尚運勢のみくじ引く
田村 恒夫

のんき節踊る河童に血がない
長井 徳市

十二支の駅伝兔の尻叩く
中村 尚治